

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス芝浦教室			
○保護者評価実施期間	2024年8月26日		～	2024年9月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	2024年12月23日		～	2025年1月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月10日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	児童の成長に合わせた活動や季節を感じられる活動を取り入れている。 週間テーマや月間の活動やねらいなどが決められているものがあるが、児童に合わせてカスタマイズして取り組んでいる。	有資格者職員の知識、他事業所の職員、社内SVを活用し、プログラムの質の向上を図る。
2	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3年ごとに受審するようにしている。 管理者や児童発達管理責任者だけでなくとどまらず、事業所職員が積極的に参加している。	日頃から評価項目を意識して業務にあたる。 評価項目の指摘された点が改善されているか定期的に確認を行う。
3	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	定期的な保護者面談に加えて、社内の就労移行支援事業所の支援員との面談や心理士の無料面談などの機会を設けている。また、他機関が運営しているペアレントメンターとの茶話会の機会を設けている。	保護者の方に周知活動を行うとともに実績を積んで、より参加しやすい企画にブラッシュアップをする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の行事に地域住民を招待する等、より地域に開かれた事業運営を目指していきたい。	区で行われているアート展への出展などは行っているが、地域住民と交流がある活動ができていない。	行政や地域で行われている行事に参加する。 地域住民に対するオープン教室などの実施を検討する。
2	事業所の設備について、完全なバリアフリーとは言えない箇所がある。	玄関と洗面台部分で15cmほど段差があり、児童が転倒するリスクがある。	段差にスロープを設置すると手洗い場や玄関のスペースが限られてしまうリスクがあるが、スロープの設置を検討する。 他のリスクが高く設定が困難な場合は、職員の注意喚起などで転倒リスクを最小限にする。
3			